



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月8日

上場会社名 高島株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8007 URL http://www.tak.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高島 幸一
 問合せ先責任者 (役職名) 経理ユニットマネージャー (氏名) 平川 知志 TEL 03-3567-0755
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	40,182	8.0	581	9.3	615	29.8	333	48.6
24年3月期第2四半期	37,196	1.4	531	46.8	474	54.5	224	29.6

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 46百万円 (△70.4%) 24年3月期第2四半期 156百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	7.37	—
24年3月期第2四半期	4.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	34,609	8,528	24.6	188.51
24年3月期	35,794	8,620	24.1	190.51

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 8,528百万円 24年3月期 8,620百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.50	3.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	82,000	2.9	1,400	7.8	1,450	3.4	800	6.6	17.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（その他）に関する事項」（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	45,645,733株	24年3月期	45,645,733株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	404,827株	24年3月期	396,677株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	45,244,913株	24年3月期2Q	45,256,823株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日)におけるわが国の経済環境は、欧州金融不安などの影響により、新興国の成長が停滞し始め、また、中国・韓国などとの政治的な関係悪化が、輸出のみならず国内消費需要にも影響を与え始めました。東日本大震災の復旧復興は徐々に進捗しておりますが、当該地域以外の景気は弱含みとなっております。一方、再生可能エネルギー関連産業は、固定買取制度の施行などを受けて堅調に推移しております。

このような環境の下、当社グループは、太陽エネルギー分野、省エネ関連・震災復旧関連分野の売上が増加しました。その他の分野も、樹脂製品、車輻部材分野を除いて堅調に推移し、全体で売上が増加しました。

このような結果、当社グループの当期における売上高は40,182百万円(前年同四半期比8.0%増)、営業利益は581百万円(前年同四半期比9.3%増)、経常利益は615百万円(前年同四半期比29.8%増)、四半期純利益は333百万円(前年同四半期比48.6%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①建材

前期は震災後のサプライチェーン混乱により、建設資材、断熱材分野などが影響を受けましたが、今期はその様な影響が無かったため、対前年比では売上が増加しました。

建材事業売上の4割を占める太陽エネルギー関連分野では、住宅用需要が継続的に拡大しました。その他の分野も堅調に推移した結果、建材事業全体で売上は増加しました。売掛金の一部に回収懸念が生じましたが、セグメント利益は増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は26,839百万円(前年同四半期比14.5%増)、セグメント利益は282百万円(前年同四半期比33.1%増)となりました。

②産業資材

前期は第2四半期にエコ照明関連の大型プロジェクトがあり、大きく売上増となりましたが、今期は平準化されたため、売上減少となりました。また車輻製造の端境期が継続しており、車輻部材分野の売上が減少、並びに家電産業全体の低迷により、樹脂製品分野の売上が減少しました。その結果、産業資材事業全体で売上及びセグメント利益は微減となりました。

この結果、当セグメントの売上高は13,264百万円(前年同四半期比2.8%減)、セグメント利益は274百万円(前年同四半期比2.6%減)となりました。

③賃貸不動産

名古屋地区の不動産を売却したことにより、当該不動産からの賃貸収入が減少したため、売上が減少し、セグメント利益も減少しました。

この結果、当セグメントの売上高は78百万円(前年同四半期比29.6%減)、セグメント利益は24百万円(前年同四半期比35.9%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末は、流動資産は27,112百万円(前連結会計年度末比2.6%減)となりました。主な要因は、太陽光パネルの調達等により商品が1,129百万円増加し、一方で回収が進んだこと等により受取手形及び売掛金が2,721百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は7,497百万円(同5.8%減)となりました。主な要因は、タカシマ名古屋ビルの売却により有形固定資産が241百万円、時価下落等により投資有価証券が443百万円減少したこと等によるものであります。

流動負債は22,114百万円(同5.2%減)となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が465百万円、短期借入金が返済により422百万円、未払法人税等が納税等により145百万円減少したこと等によるものです。

固定負債は3,966百万円(同2.8%増)となりました。主な要因は、新規借入等により長期借入金が140百万円、債権保全のための預り保証金の増加等によりその他の固定負債が64百万円増加したことによるものであります。

純資産合計は8,528百万円(同1.1%減)となりました。主な要因は、四半期純利益の計上により333百万円増加、一方で、その他有価証券評価差額金が時価下落により266百万円、利益剰余金が配当金の支払により135百万円減少したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、3,463百万円となり、前連結会計年度末と比べ343百万円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動における資金の増加は、657百万円(同157百万円の減少)となりました。主な要因は、回収が進んだことによる売上債権の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動における資金の増加は、151百万円(同229百万円の減少)となりました。主な要因は、タカシマ名古屋ビルを売却したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動における資金の減少は、464百万円(同64百万円の増加)となりました。主な要因は、社債の償還、借入金の返済、配当金の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月10日の「平成24年3月期決算短信」にて公表いたしました、平成25年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる損益へ与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,120	3,463
受取手形及び売掛金	20,965	18,244
商品	2,022	3,151
未成工事支出金	495	476
その他	1,319	1,864
貸倒引当金	△85	△88
流動資産合計	27,838	27,112
固定資産		
有形固定資産	3,537	3,295
無形固定資産	186	169
投資その他の資産		
投資有価証券	2,699	2,256
その他	1,571	1,912
貸倒引当金	△39	△137
投資その他の資産合計	4,232	4,032
固定資産合計	7,955	7,497
資産合計	35,794	34,609

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,365	18,899
短期借入金	2,198	1,776
未払法人税等	389	243
賞与引当金	362	309
その他	1,000	884
流動負債合計	23,317	22,114
固定負債		
社債	250	200
長期借入金	1,255	1,395
退職給付引当金	514	469
その他	1,837	1,902
固定負債合計	3,856	3,966
負債合計	27,173	26,081
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,801	3,801
資本剰余金	1,825	1,825
利益剰余金	2,170	2,375
自己株式	△74	△77
株主資本合計	7,722	7,925
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	246	△20
土地再評価差額金	806	798
為替換算調整勘定	△155	△175
その他の包括利益累計額合計	897	602
純資産合計	8,620	8,528
負債純資産合計	35,794	34,609

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	37,196	40,182
売上原価	33,811	36,453
売上総利益	3,385	3,728
販売費及び一般管理費	2,853	3,147
営業利益	531	581
営業外収益		
受取利息	22	24
受取配当金	39	42
持分法による投資利益	5	7
償却債権取立益	5	1
その他	33	54
営業外収益合計	105	131
営業外費用		
支払利息	44	45
手形売却損	14	14
為替差損	96	30
その他	7	6
営業外費用合計	163	97
経常利益	474	615
特別損失		
投資有価証券評価損	53	35
関係会社清算損	8	—
特別損失合計	62	35
税金等調整前四半期純利益	411	580
法人税、住民税及び事業税	129	237
法人税等調整額	58	9
法人税等合計	187	246
少数株主損益調整前四半期純利益	224	333
少数株主利益	—	—
四半期純利益	224	333

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	224	333
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△48	△266
為替換算調整勘定	△26	△19
持分法適用会社に対する持分相当額	7	△0
その他の包括利益合計	△67	△286
四半期包括利益	156	46
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	156	46
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	411	580
減価償却費	78	90
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△57	100
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△27	△52
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△50	△45
受取利息及び受取配当金	△61	△67
支払利息	44	45
投資有価証券評価損益 (△は益)	53	35
関係会社清算損益 (△は益)	8	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△754	2,695
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△240	△1,120
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,219	△454
未払消費税等の増減額 (△は減少)	15	△99
その他	△672	△688
小計	△31	1,019
利息及び配当金の受取額	62	65
利息の支払額	△44	△45
法人税等の支払額	△145	△380
営業活動によるキャッシュ・フロー	△157	657
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△123	△54
有形固定資産の売却による収入	2	209
無形固定資産の取得による支出	△115	—
投資有価証券の取得による支出	△4	△3
貸付けによる支出	△8	△2
貸付金の回収による収入	8	10
その他	11	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△229	151
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	183	129
長期借入れによる収入	150	300
長期借入金の返済による支出	△120	△700
社債の償還による支出	△50	△50
配当金の支払額	△89	△133
その他	△9	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	64	△464
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	△1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△330	343
現金及び現金同等物の期首残高	2,940	3,120
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,610	3,463

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	建材	産業資材	賃貸不動産			
売上高						
外部顧客への売上高	23,435	13,649	111	37,196	—	37,196
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	4	4	△4	—
計	23,435	13,649	115	37,200	△4	37,196
セグメント利益	212	281	38	531	—	531

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	建材	産業資材	賃貸不動産			
売上高						
外部顧客への売上高	26,839	13,264	78	40,182	—	40,182
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	4	4	△4	—
計	26,839	13,264	82	40,186	△4	40,182
セグメント利益	282	274	24	581	—	581

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。